

日本とは馴染みの深い花

< 植物名 >

ダイアンサス

カラナデシコ

白

水やり

水やりは土がいったん乾いてからする。過湿を避ける。

置き場所

日なたと水はけ、腐植質に富む用土を好む。

用土肥料

多肥を避ける。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

タネまき、株分け、挿木

冬越し

特記事項なし。

使い方 花壇、鉢植え、切り花

学名 Dianthus

英名

属名 ナデシコ

科名 ナデシコ

性状(分類) 多年草、常緑性

原産地 ヨーロッパ, 地中海沿岸, アジア, 熱帯, 南アフリカ山地

花の色 白

開花期 3～12月

購入時期

草丈 30～80cm

ID 875

季節 春 夏 秋 冬

JFコード 28008



冬越しと置き場所

耐寒性がある。日なたと水はけ、腐植質に富む用土を好む。

その他の解説

多肥を避ける。耐乾性がある。法面・水田緑化に向く。

特徴1

秋の七草の一つで、日本とは馴染みの深い花。水やりは土がいったん乾いてからする。過湿を避ける。

特徴2

秋の七草の一つで、日本全土の山野、川原に普通に見られる。‘大和撫子’という言葉があるように、日本とは馴染みの深い花。ヨーロッパでは、ロックガーデンを彩る花として親しまれている。茎にやや肥厚した節があり、その上の方の節から数本の細い側枝を出して、秋に淡紅色の花を咲かせる。3～4対ある苞の先はとがり、花卉の縁は糸状になっている。